

かものういんだより

2024年6月号

発行：静岡県賀茂農林事務所

所在地：〒415-0016 静岡県下田市中531番地の1

電話番号：0558-24-2075 FAX番号：0558-24-2163

ホームページ：https://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-710/



深野 智恵子 賀茂農林事務所長からの挨拶

4月から賀茂農林事務所長に着任した深野智恵子です。私は初めて賀茂地域で勤務することになりましたが、この地域の色彩豊かな景色や変化に富んだ海岸線の姿にすっかり魅了されました。また、多くの観光客が豊かな自然やその恵みを満喫する姿を間近にし、日本有数の観光地であることを改めて実感したところです。

さて、当事務所では、昨年度に引き続き、伊豆縦貫自動車道の建設発生土を活用した農地の基盤整備に取り組んでいます。農地の集積・集約化を推進するとともに、スマート技術導入の支援や、新規就農者の確保・育成をし、多様な担い手による地域農業の活性化を進めてまいります。

また、地域の安心・安全を守るため、治山施設等の整備や点検をし、災害の未然防止に努めてまいります。山側では、森林資源の循環利用や、森林の適正な整備・保全をし、森林の公益的機能向上を図っていきます。

今後も、地域の皆様の声を聞き、農林業の振興を図るとともに、地域の持続的な発展に向けて取り組んでまいりますので、御支援・御協力をお願いします。



担当：総務課（0558-24-2075）

賀茂地域オンライン就農相談会の開催

賀茂農林事務所では、賀茂地域での就農希望者を対象に、相談会をオンライン形式で開催します。

就農までのステップや支援制度の紹介等を行い、農業観の醸成や就農への理解を促します。

【開催日時】①令和6年7月13日(土)
②令和6年10月12日(土)
③令和7年1月18日(土)
各回午前10時30分から午後2時10分まで

【対象者】賀茂地域で就農を希望する者

【方法】Web会議システムZoomを使用

【定員】各回3組(計9組) 1組当たり40分間

【その他】参加費無料(通信費は自己負担)
事前申込が必要となります。

担当：企画経営課（0558-24-2076）

ニューサマーオレンジ等におけるカットバック処理を推進しています

賀茂農林事務所では、果樹農家の労力を軽減するため、カットバック処理^{*}の導入を進めています。

4月に、東伊豆町白田の協力農家で樹高約4m程度のニューサマーオレンジ6本にカットバック処理をしました。ニューサマーオレンジは樹勢が強いいため、処理約1ヶ月後には新しい芽の発生が確認できます。この園地は、伊豆農業研究センターの施肥管理試験にも用いられます。

2月にカットバック処理講習会を実施したことで、導入する生産者も増加してきています。ニューサマーオレンジだけではなく、大木になりやすい甘夏や青島温州等にも技術が活用できることも期待されます。今後も、果樹産地の省力化を支援していきます。

^{*} 樹を切り株のように伐採し、切り口から新たに発生する新梢で高さ2m程度に樹を再生する低樹高化栽培技術。



処理前

処理後

担当：地域振興課（0558-24-2079）

林道青野八木山線工事が完了

南伊豆町の青野地区と松崎町の岩科北側地区を結ぶ、「林道青野八木山線」松崎町側の令和5年度分道路拡幅工事（延長92m）が3月25日に完了しました。

青野八木山線は森林整備のために活用されているほか、地域の方々にも利用されています。また、計画延長は約6,800mで、南伊豆町側は平成30年度に完成しました。

賀茂農林事務所森林整備課では、今後も残っている松崎町側の工事を進めていきます。



←施工前



↓施工後

担当：森林整備課（0558-24-2082）

第37回 農地・治山 災害防止パトロール

6月3日（月）から6月13日（木）にかけて、農地・治山災害防止パトロールを実施しました。近年頻発する集中豪雨や台風に備え、農林防災施設とその周辺状況を点検し、災害の未然防止を図ります。また、パトロールでは現地で地域住民の皆様にはパンフレットなどを渡ししながら、山の状況を説明するなど、防災意識の向上にも取り組みました。

施設の異常や荒れた沢など危険が感じられる場所がありましたら、お住まいの市役所・町役場や賀茂農林事務所まで御連絡下さい。



担当：農村計画課（0558-24-2080）
治山課（0558-24-2084）

石部の棚田で田植え祭が開催されました

5月18日（土）、19日（日）に、農林水産省の「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～」に認定されている松崎町石部の棚田で田植え祭が開催されました。

当日は晴天に恵まれ、2日間で400名以上の方が参加されました。

また、石部の棚田では、令和6年3月から石部の有志と南伊豆町の茅葺き職人により、中腹にある水車小屋の茅葺き屋根の修理作業が進められてきました。この度、茅葺き屋根の葺き替えが完成したことから、18日の田植え後に完成お披露目会が開催されました。



担当：農村計画課（0558-24-2080）

WELLかも！ 「わさびジオツアー」

世界農業遺産に認定された「静岡水わさびの伝統栽培」とユネスコ世界ジオパークに認定された「伊豆半島」を組み合わせたツアーが松崎町池代地区で開催されています。

ジオガイドによるジオ散策とわさび収穫体験などの農家体験によりジオとわさびの関連を学ぶツアーになっています。わさび生産者との交流、わさびの試食もあります。

どうして伊豆半島（松崎町池代地区）でわさびを栽培しているのか？おいしくて泣ける謎解きツアーに参加してみませんか？

